


2019年3月期決算説明資料

 ユシロ化学工業株式会社 TYO 5013

2019年5月29日



INDEX

会社概要 Business Outline

会社概要	4
ユシログループ国内外拠点	5
ユシログループの売上高構成	6
製品と用途の紹介	7
ユシロの開発力（注力製品事例）	8
金属加工油剤の得意先別売上高構成	9
日系自動車メーカー世界生産台数と当社売上高（連結）	10

2019年3月期 決算業績概要 Results

2019年3月期 実績（連結）	12
2019年3月期 業績概要（連結）	13
2019年3月期 営業利益（連結）増減要因分析	14
2019年3月期 営業利益の変動要因について	15
2019年3月期 地域別売上高	16
海外連結子会社売上高（現地通貨）アメリカ・ブラジル	17
海外連結子会社売上高（現地通貨）メキシコ・中国	18
海外連結子会社売上高（現地通貨）タイ・インド	19

海外連結子会社売上高（現地通貨）マレーシア・インドネシア	20
貸借対照表（連結）	21
キャッシュ・フロー計算書（連結）	22

2020年3月期 業績予想 Forecast

2020年3月期 業績予想（連結）	24
2020年3月期 地域別売上高（予想）	25
2020年3月期 売上高に関する戦略	26
2020年3月期 地域別営業利益（予想）	27
2020年3月期 営業利益に関する戦略	28
QualiChem社の概要	29
QualiChem社の特長	30
QualiChem社とのシナジー効果について	31
株主還元	32

ビジネストピック Business topic

ウイザードゲル①	34
ウイザードゲル②	35

A dynamic splash of clear water against a blue gradient background, with ripples spreading across the surface.

会社概要

A background pattern of light-colored hexagons, some with thin green or purple outlines, creating a molecular or chemical structure aesthetic.

Business Outline



©2019 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

会社概要

会社概要（2019年3月末現在）

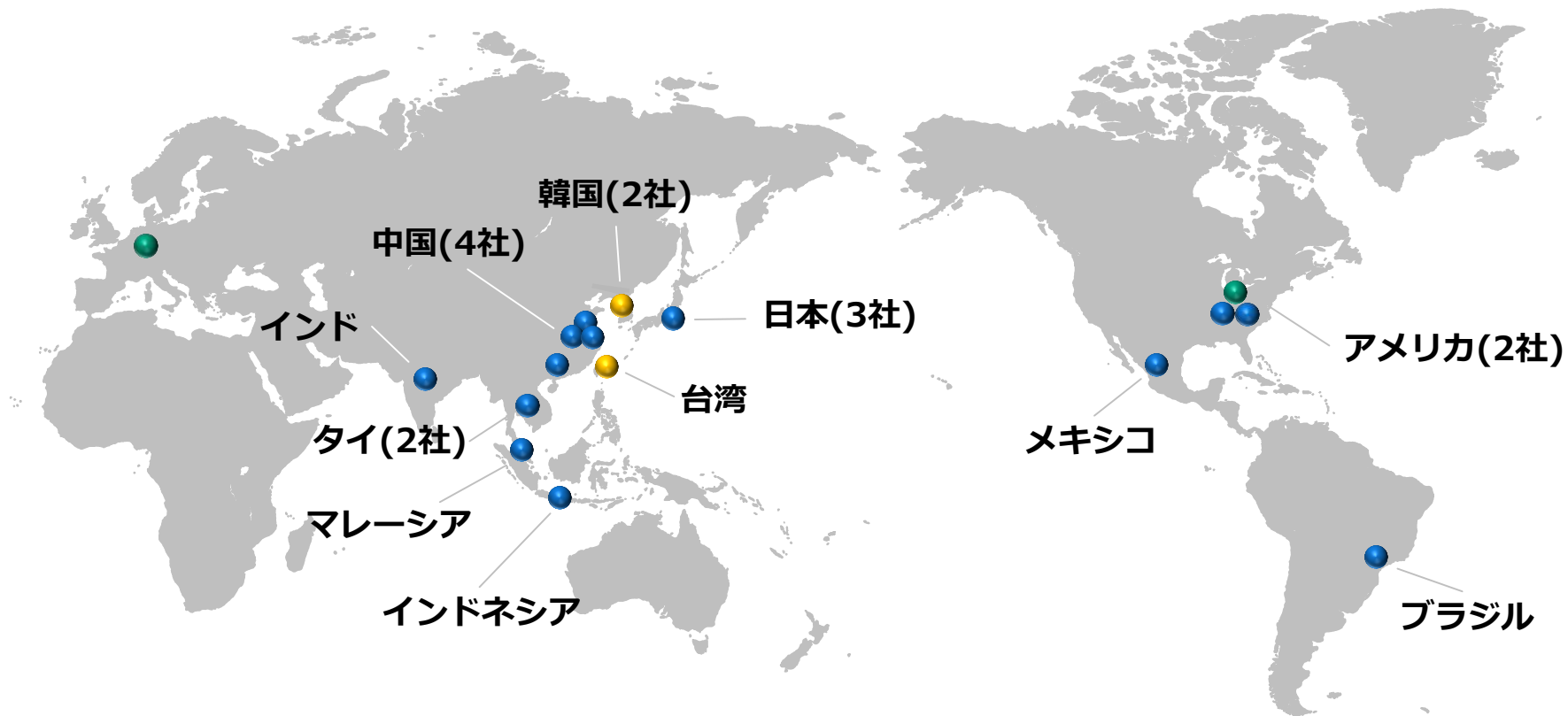
社名	ユシロ化学工業株式会社 (英文名称：Yushiro Chemical Industry Co.,Ltd.)
本社	東京都大田区千鳥2丁目34番16号
代表者	代表取締役社長 大胡 栄一
創立	昭和19年7月24日
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・金属加工油剤(切削油剤、圧延油剤、引抜油剤、プレス油剤、ダイカスト離型剤、さび止め油剤、洗浄剤等)の製造・販売 ・ビルメンテナンス製品(フロアメンテナンス用ワックスおよび剥離剤、洗浄剤、メンテナンス用機器)の製造・販売
資本金	4,249百万円
連結子会社	(国内) ・日本シー・ピー・ケミカル株式会社(化学品製造・販売) ・ユシロ運送株式会社(製品輸送) ・ユシロ・ゼネラルサービス株式会社(ユシロ運送の倉庫管理業務)(海外) 北米、南米、アジア地域に合計13社のネットワークを有しています。
従業員数	単体：342名 連結：1,034名

海外ネットワーク詳細

地域	国	社名	住所
北米	アメリカ	YUSHIRO MANUFACTURING AMERICA,INC.	米国インディアナ州 シェルビービル市
		QualiChem,Inc.	米国バージニア州
	メキシコ	YUSHIRO MEXICO S.A.DE C.V.	メキシコ国 グアナファト州
南米	ブラジル	YUSHIRO DO BRASIL INDUSTRIA QUIMICA LTDA.	ブラジル国 サンパウロ州カサババ市
アジア	中国	上海尤希路化学工業有限公司	中国上海市宝山区
		啓東尤希路化学工業有限公司	中国江蘇省啓東市
	タイ	YUSHIRO(THAILAND)CO.,LTD.	タイ国チョンブリ県
	マレーシア	YUSHIRO MALAYSIA SDN.BHD.	マレーシア国 セランゴール州プチョン
	インドネシア	PT.YUSHIRO INDONESIA	インドネシア国 西ジャワ州カラワン県
	インド	YUSHIRO INDIA COMPANY PRIVATE LIMITED	インド国 ハリヤナ州グルガオン
	台湾	三宜油化股份有限公司	台湾台北市
	韓国	汎字化学工業株式会社	韓国ソウル特別市

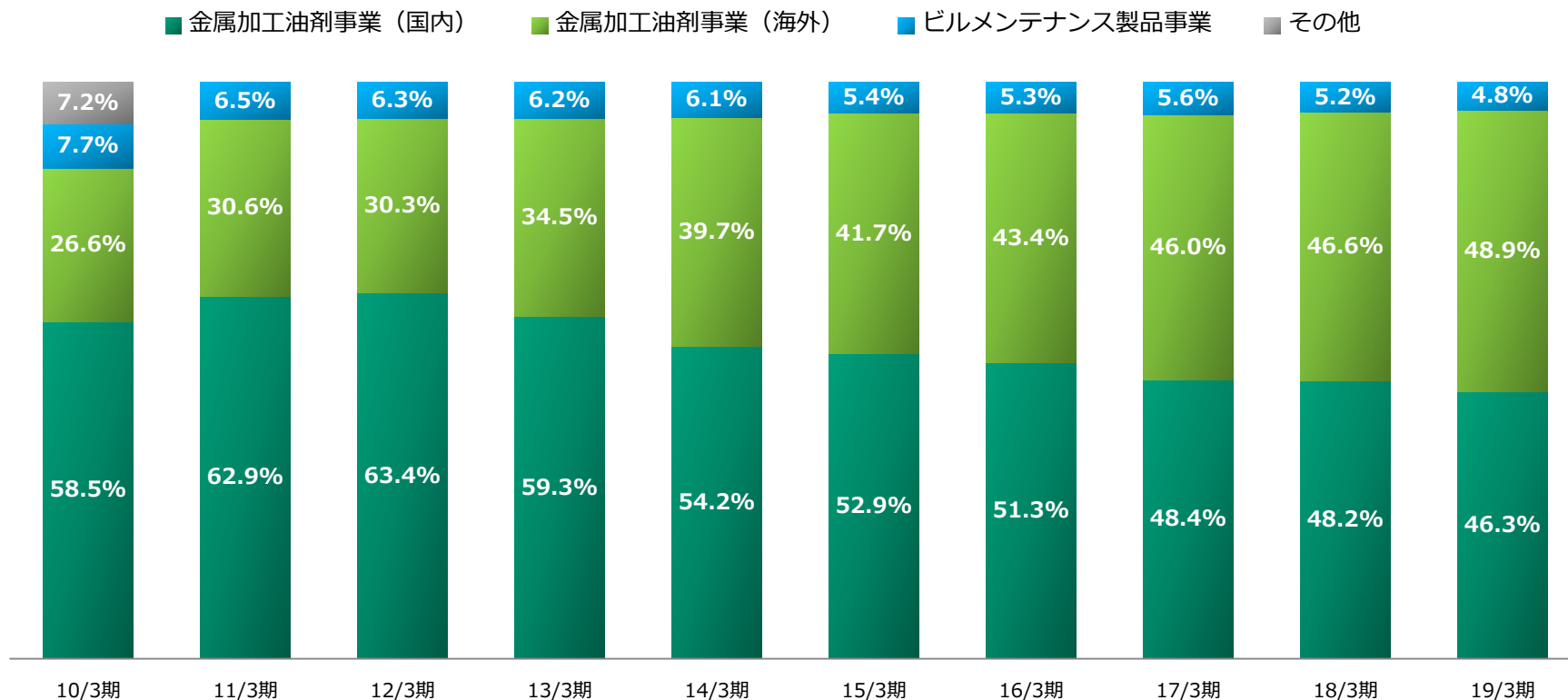
ユシログループ 国内外拠点

- 子（孫）会社（国内3社、海外13社）
- 持分法適用会社（海外3社）
- 技術提携会社（海外2社）



ユシログループの売上高構成

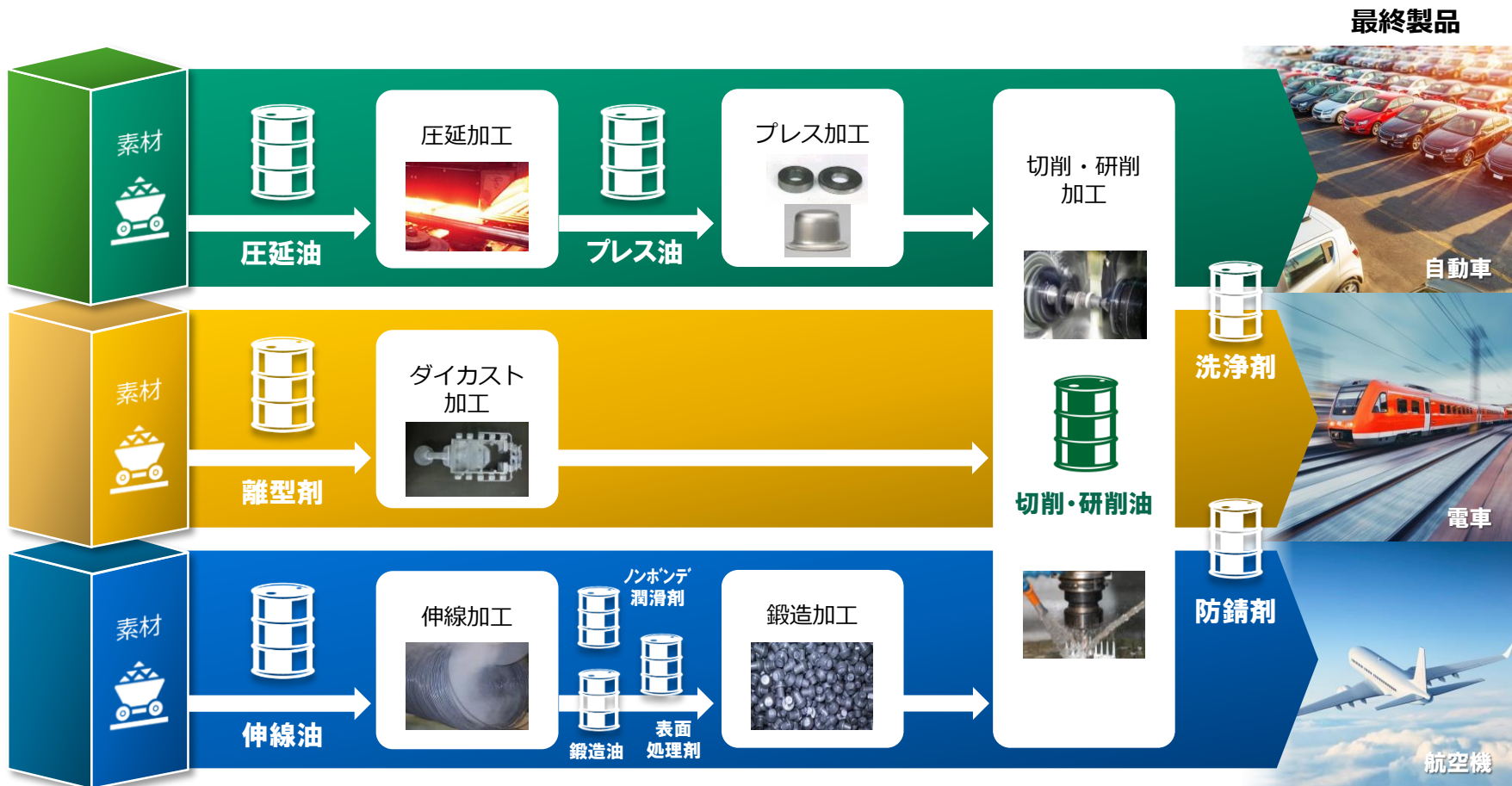
- 金属加工油剤事業は、海外展開を加速する日系自動車メーカーの需要を確実に確保することで安定基盤を構築
- ビルメンテナンス製品事業は、安定的な需要を取り込むことで一定の基盤を確保



製品と用途の紹介

顧客の金属加工の各工程において、
前後工程を踏まえた最適な金属加工油剤を提供

金属加工の工程



ユシロの開発力（注力製品事例）

製品名 ヌシロンフォーム「Visilube」VZ-100（油性）/VZ500W（水性）

機能 高温金型でも可視化可能な離型剤

ユシロ独自の開発力が生み出すオンリーワン技術



コスト
ダウン

サイクル
タイム
短縮

品質
向上

離型剤被膜の
可視化により
最適塗布量
を見極める

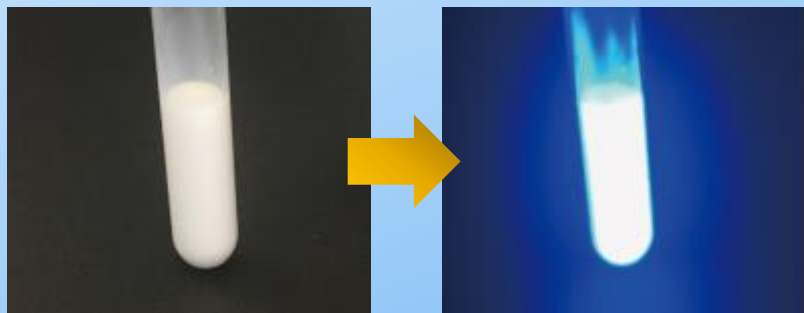
ティーチング
作業の簡便化

環境負荷
低減

業務効率
の向上

迅速な
トラブル対策

ブラックライトの照射により発光



高温でも消光しにくい（剥がれにくい）

	200℃	300℃
開発品		
従来品		

蛍光剤の発光確認試験の結果

離型剤被膜の可視化

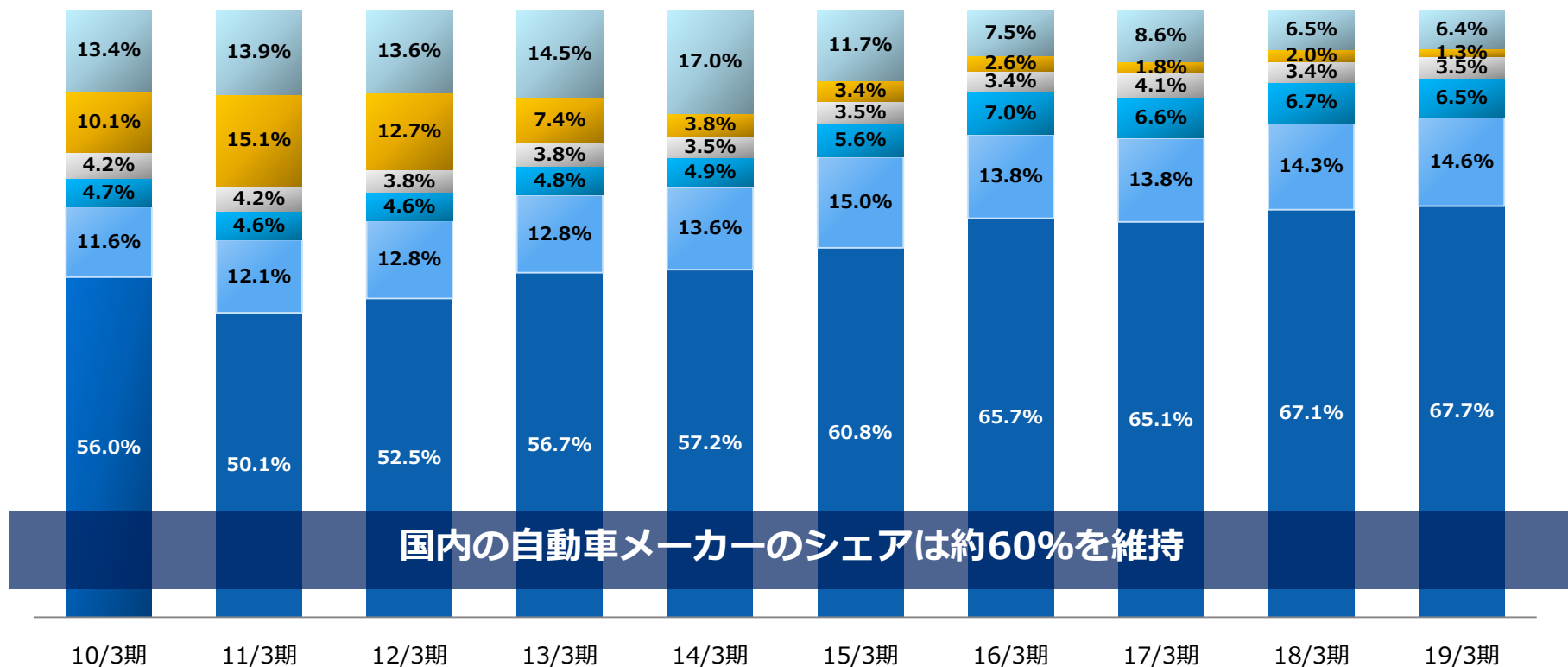
離型剤被膜の数値化

高温金型でも消光しにくい
（=剥がれにくい）

金属加工油剤事業の得意先別売上高構成

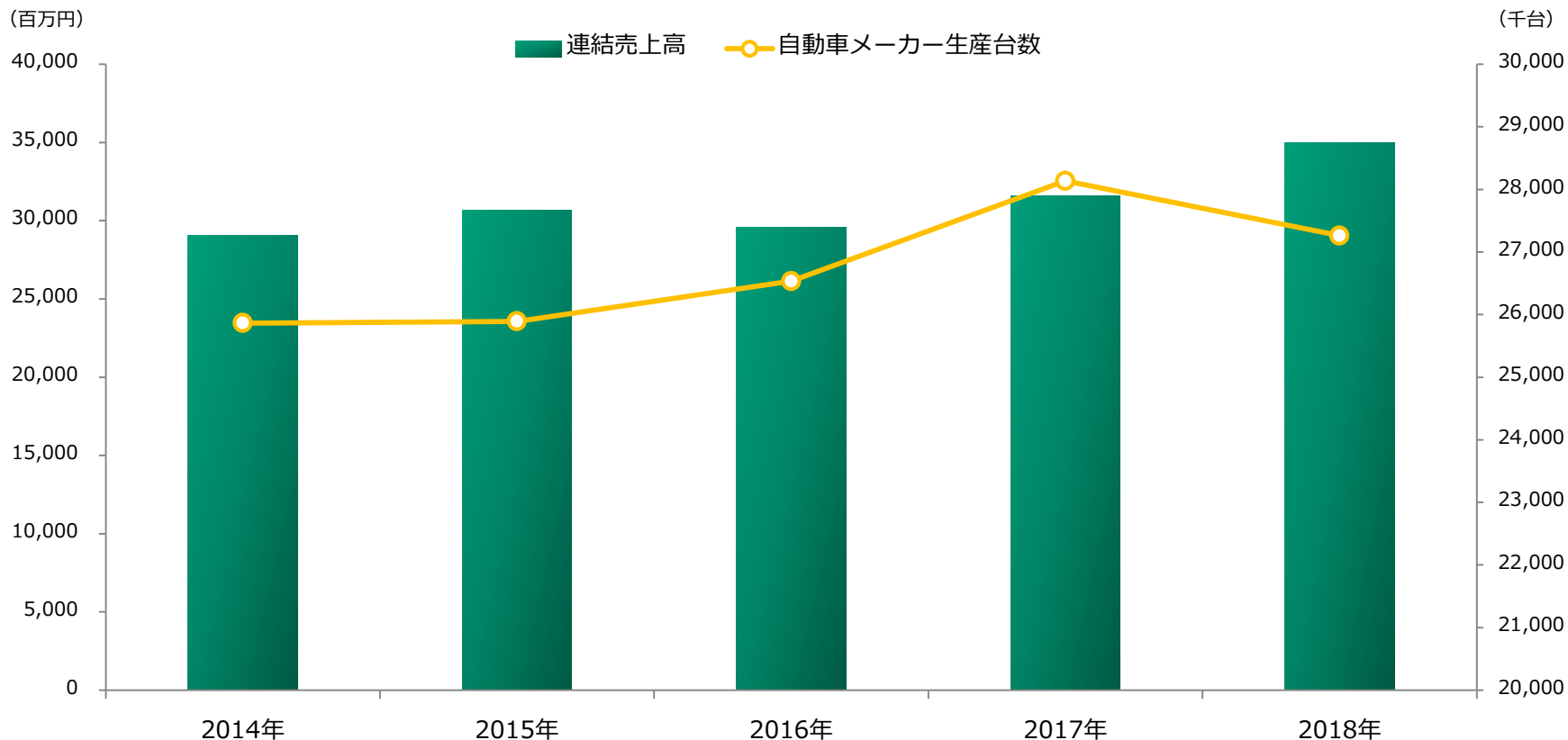
- 得意先別売上高についても、10年以上国内の自動車メーカーのシェア約60%維持を継続
- 太陽電池・半導体向けの減少分を、主力の自動車及び自動車関連向けをさらに拡大して吸収するとともに、独自開発の強みを活かして機械、ベアリング向けを拡張することで全体の売上高伸長を実現

■ 自動車及び自動車関連 ■ 機械 ■ ベアリング ■ 鉄鋼 ■ 太陽電池・半導体 ■ その他



日系自動車メーカー世界生産台数と当社売上高（連結）

- 日系自動車メーカー向けシェアは維持しつつも、海外自動車メーカー向けや自動車関連以外への販売を拡大することで、日系自動車メーカー世界生産台数推移に依存することのない売上高伸長を実現



出所：マークラインズ(株)メーカーブランド別年次生産実績より

2019年3月期 決算業績概要

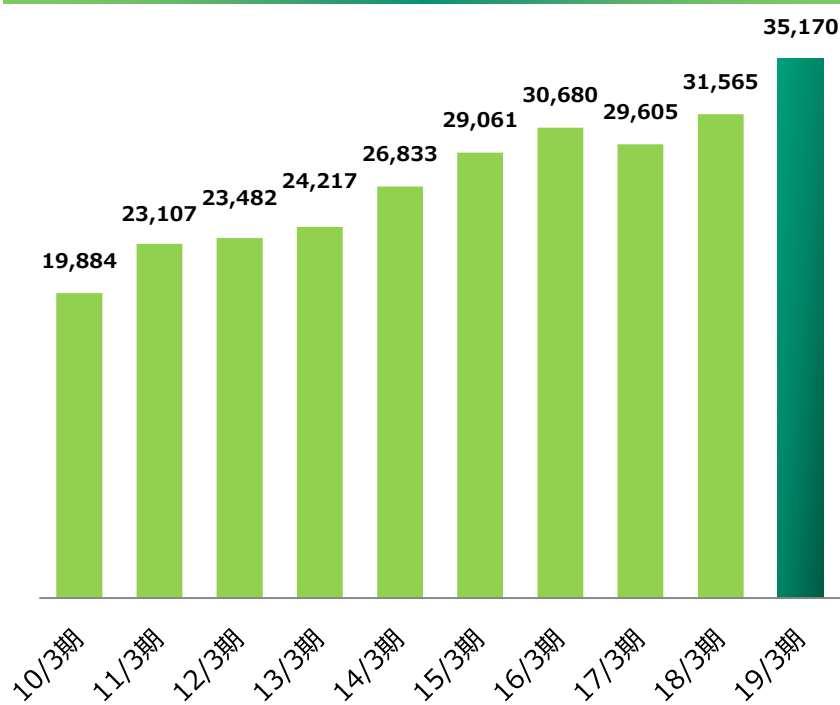


Results

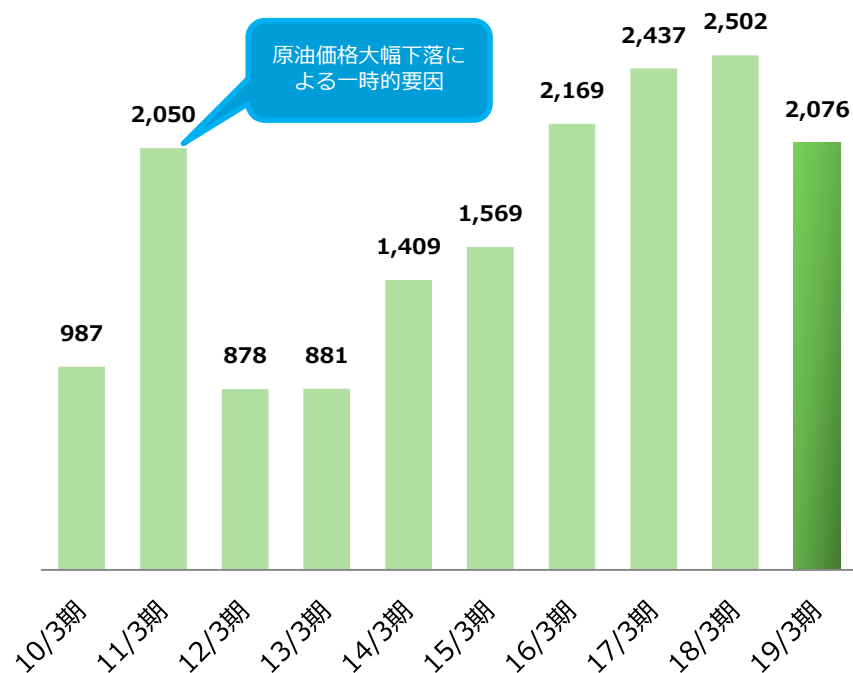
2019年3月期実績（連結）

- 売上高はリーマンショック以降順調に増加。17/3期の減収は、殆どの換算レートが円高になったことによるものであり、換算上の為替の影響を除けば、9期連続増収を達成
- 営業利益は、リーマンショック後の回復及び原油価格下落により11/3期に20億円計上するも、翌期原油価格上昇により一旦減益に。その後は増収効果もあり6期連続で増益を達成するも、当期は減益に

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



2019年3月期業績概要（連結）

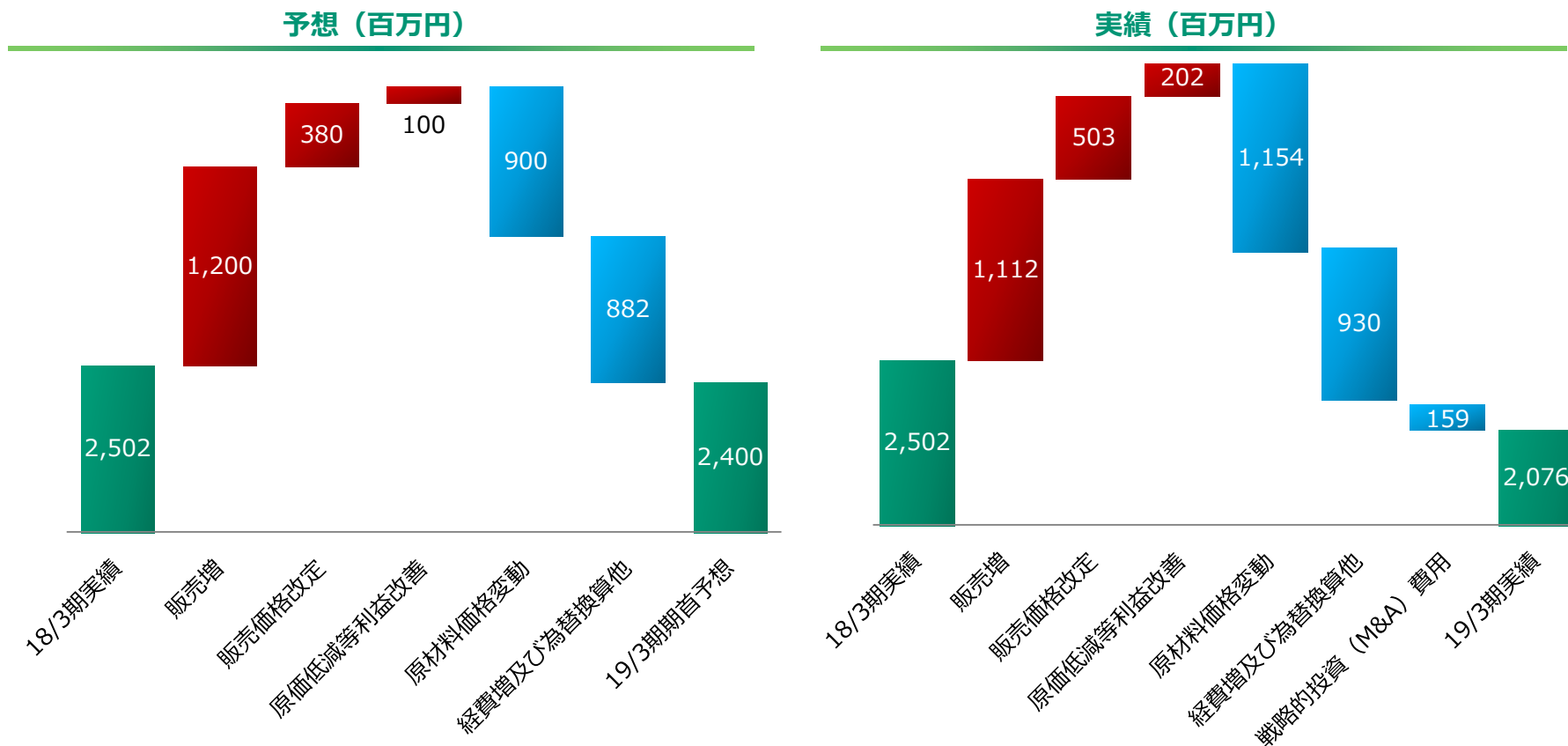
- 連結売上高は、国内外の日系自動車メーカーを中心に販売拡大を実現するとともに機械・ベアリング向け販売を充実させることで、前期比増収を達成
- 営業利益は、予想を上回る原材料価格高騰の影響を受けたこと及び、グローバルマーケットでの販売拡張戦略に基づくM&A費用の計上を行ったことが要因となって、前期比減益に

(百万円)

	18/3期	19/3期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	31,565	35,170	3,605	11.4%
営業利益	2,502	2,076	-425	-17.0%
経常利益	3,243	2,634	-609	-18.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,228	1,724	-503	-22.6%

2019年3月期 営業利益（連結）増減要因分析

- 販売価格改定と原価低減等利益改善で当初予想を上回る実績となるも、想定以上の原材料価格変動と戦略的投資（M&A）費用、経費増により、営業利益は期首予想を下回る



2019年3月期 営業利益の変動要因について

買収費用の計上

2018年8月末に買収した米国QualiChem社の買収費用として159百万を計上

原材料費の増加

全ての拠点で原材料価格が高騰。その影響で連結の売上原価率が約2%上昇

海外人件費の増加

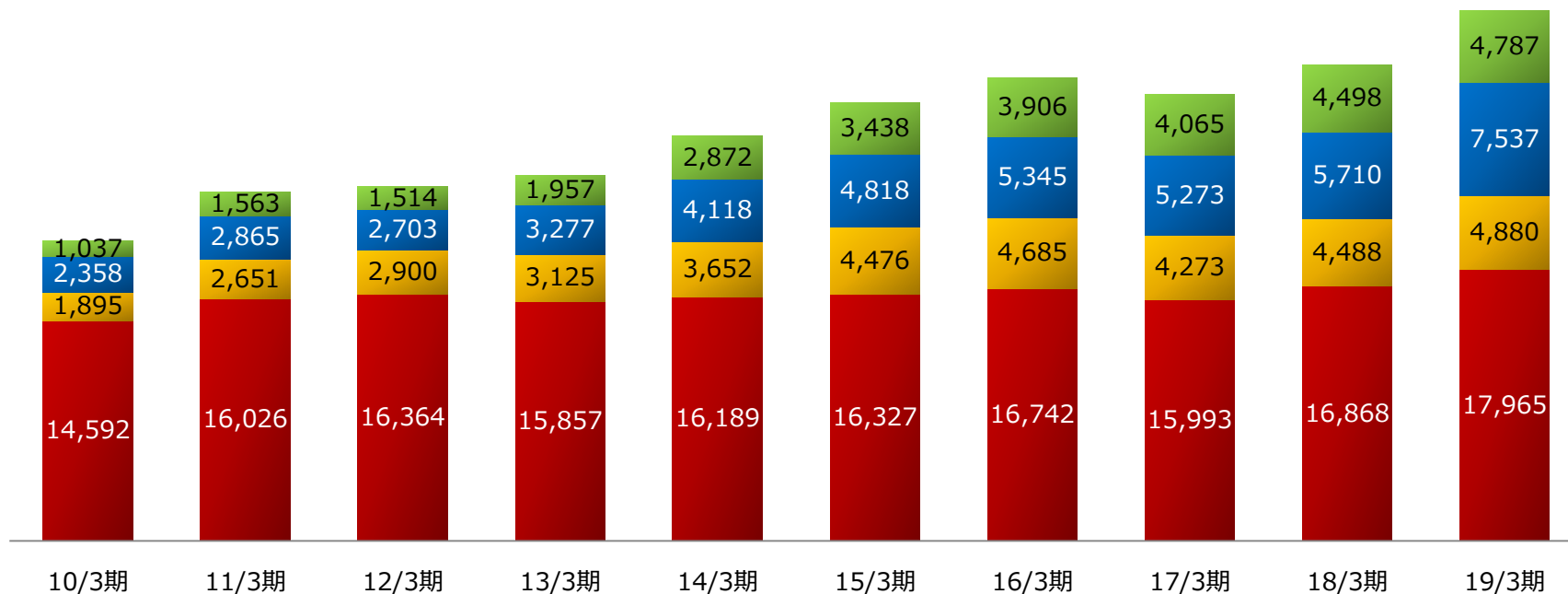
殆どの海外拠点で人件費が上昇。特に中国については前期比+14%増加

2019年3月期 地域別売上高

- 国内売上高に迫るほどに拡大した海外販売伸長によって、増収トレンド継続を実現
- 特にM&A効果による南北アメリカの増収が海外販売拡大に寄与

セグメント別売上高（百万円）

■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド

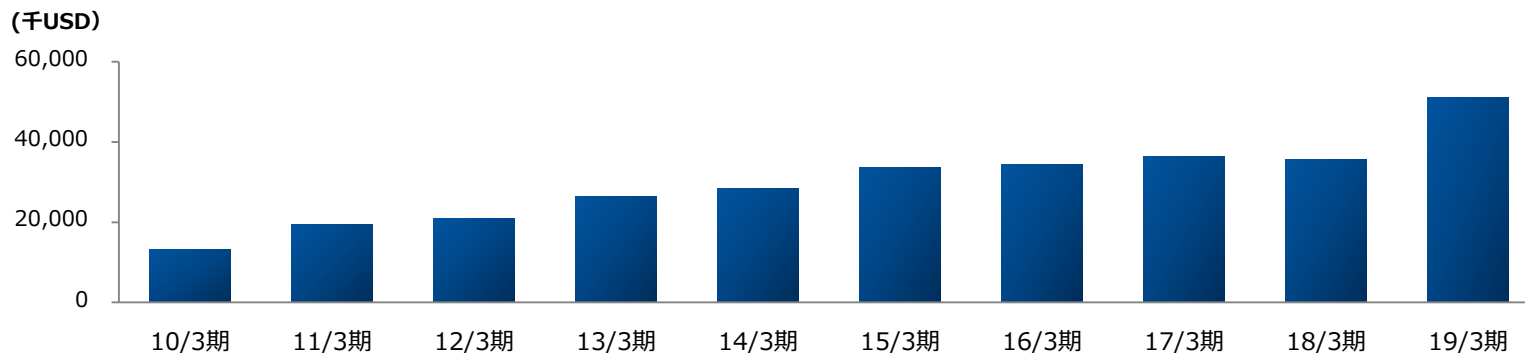


海外連結子会社売上高（現地通貨）アメリカ・ブラジル

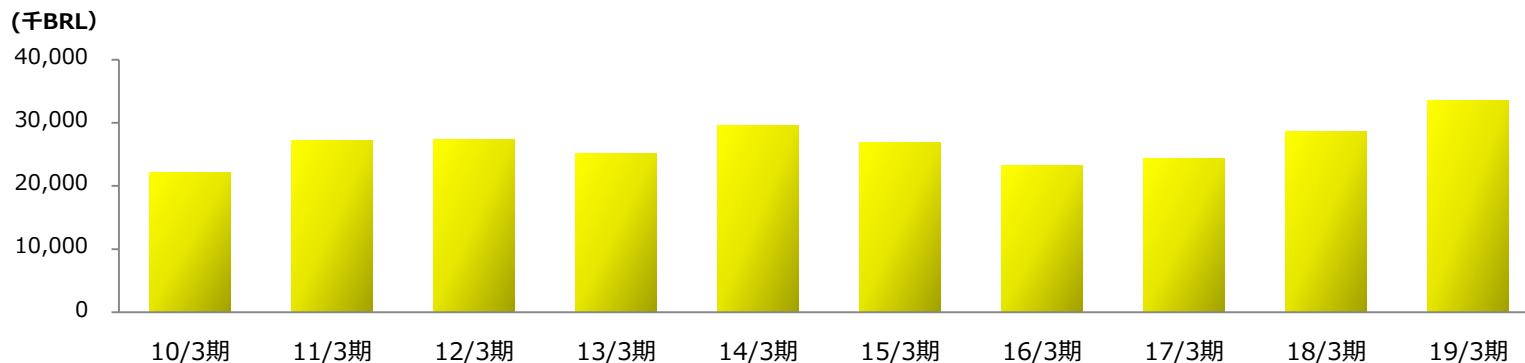
【アメリカ】アメリカ・ユシロは日系自動車生産台数減少の影響で前期実績を下回ったが、8月に買収した QualiChem社の寄与（4ヶ月分）で前期比+43.2%の増収

【ブラジル】回復基調にある市場経済と新規顧客獲得及び販売価格改定により、前期比+17.2%の増収

アメリカ



ブラジル



海外連結子会社売上高（現地通貨）メキシコ・中国

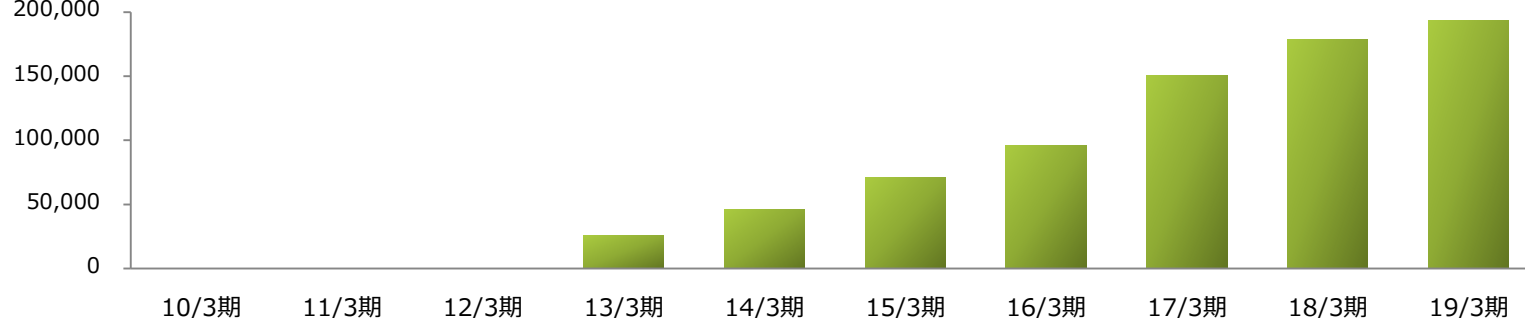
【メキシコ】日系自動車メーカーへの拡販で前期比+8.2%増収

【中国】好調を維持した日系自動車メーカーの生産増、大手顧客の獲得及び代理店強化が寄与して前期比+7.5%

の増収

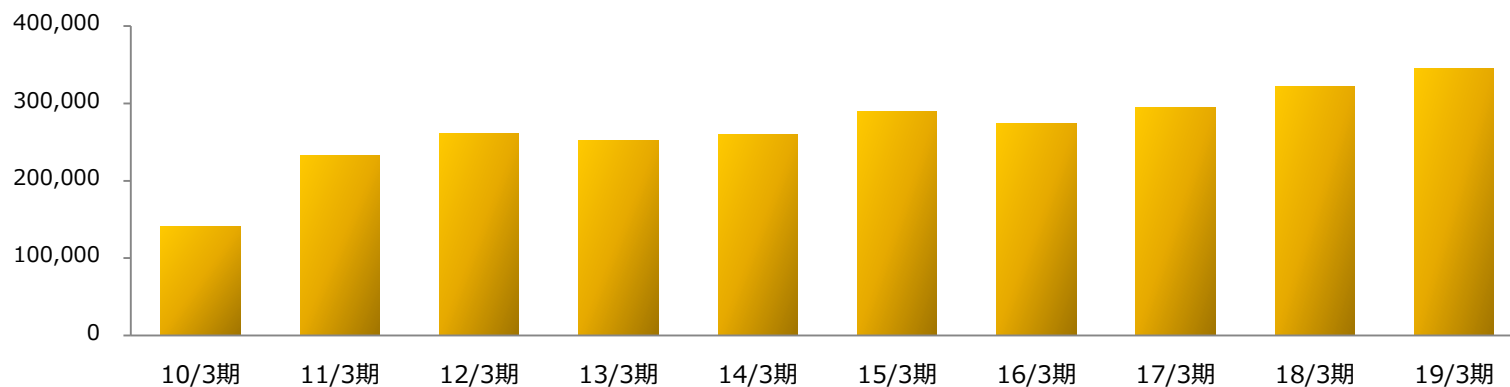
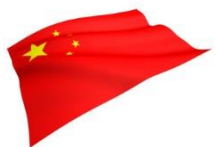
(千MXN)

メキシコ



(千CNY)

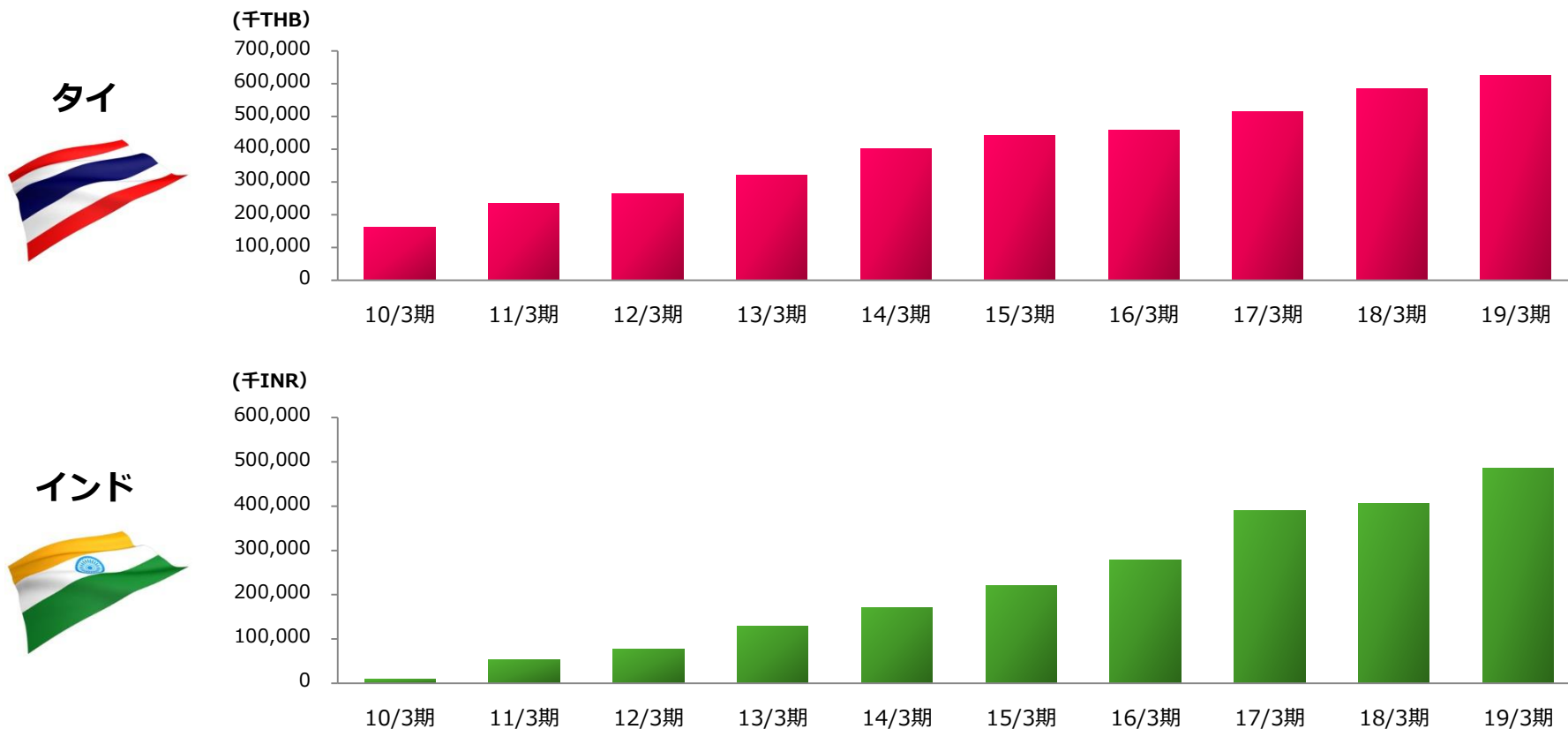
中国



海外連結子会社売上高（現地通貨）タイ・インド

【タイ】 好調な国内自動車販売を背景に前期を上回った自動車生産台数が寄与したうえ、既存顧客のシェアアップも実現して、前期比+7.0%の増収

【インド】 新規拡販、既存顧客のシェアアップとタイへの輸出量増加により前期比+19.3%の増収

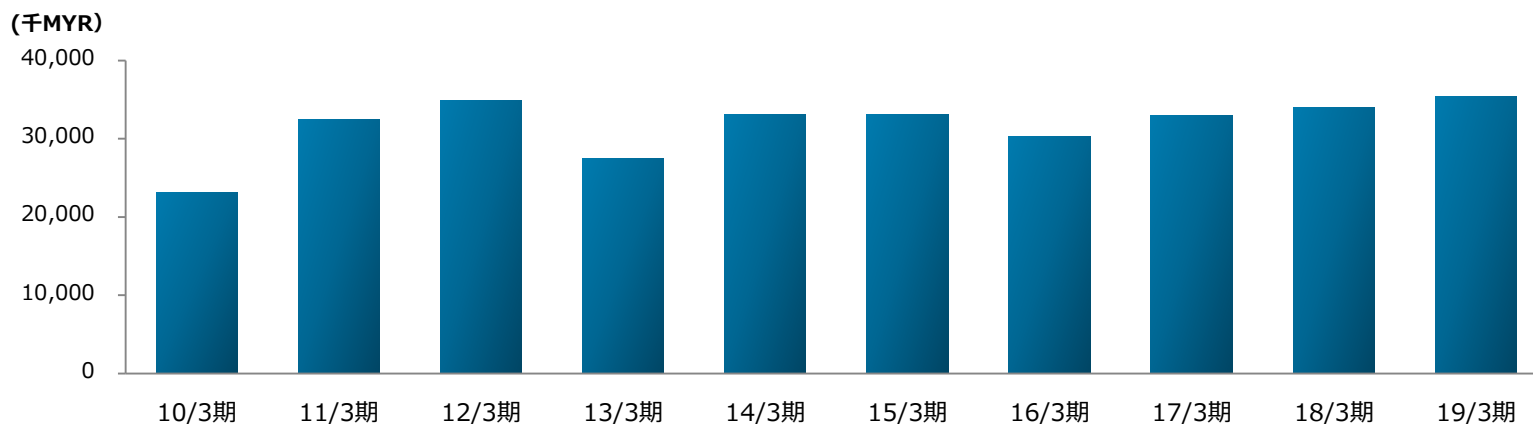


海外連結子会社売上高（現地通貨）マレーシア・インドネシア

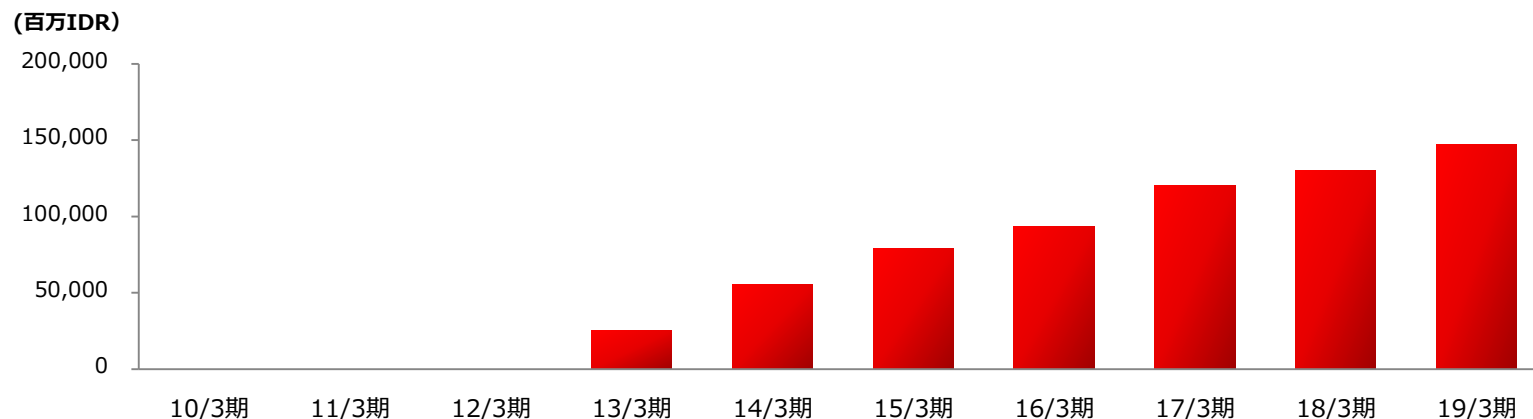
【マレーシア】国内の自動車生産増及びベトナム・フィリピンへの好調な輸出により、前期比+4.2%の増収

【インドネシア】好調な自動車生産を背景に新規拡販と販売価格改定により、前期比+13.1%の増収

マレーシア



インドネシア



貸借対照表（連結）

- 戦略的M&Aを実施したことにより、のれん・顧客関連資産等で、資産合計は増加
- 戦略的M&A費用を長期借入金で賄ったことが要因となって、負債合計が増加

(百万円)

		18/3期末	19/3期末	差額
連結	資産合計	43,683	48,958	5,274
	負債合計	11,485	17,166	5,680
	純資産合計	32,197	31,791	-405
	負債・純資産合計	43,683	48,958	5,274

キャッシュ・フロー計算書（連結）

- 投資活動によるキャッシュ・フローは、QualiChem社買収のための支出により大きく変動
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、QualiChem社買収資金調達による収入により大きく変動

(百万円)

	18/3期末	19/3期末	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,211	2,121	-90
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,241	-6,510	-5,269
財務活動によるキャッシュ・フロー	-975	3,500	4,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	53	-245	-299
現金及び現金同等物の増減額	48	-1,135	-1,183
現金及び現金同等物の期首残高	8,034	8,082	48
現金及び現金同等物の期末残高	8,082	6,947	-1,135

2020年3月期 業績予想

Forecast



©2019 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2020年3月期 業績予想（連結）

- 売上高：各拠点の増収予想及びQualiChem社の通期寄与により増収
- 営業利益：原材料価格の上昇を予想するものの、増収効果で前期比増益

(百万円)

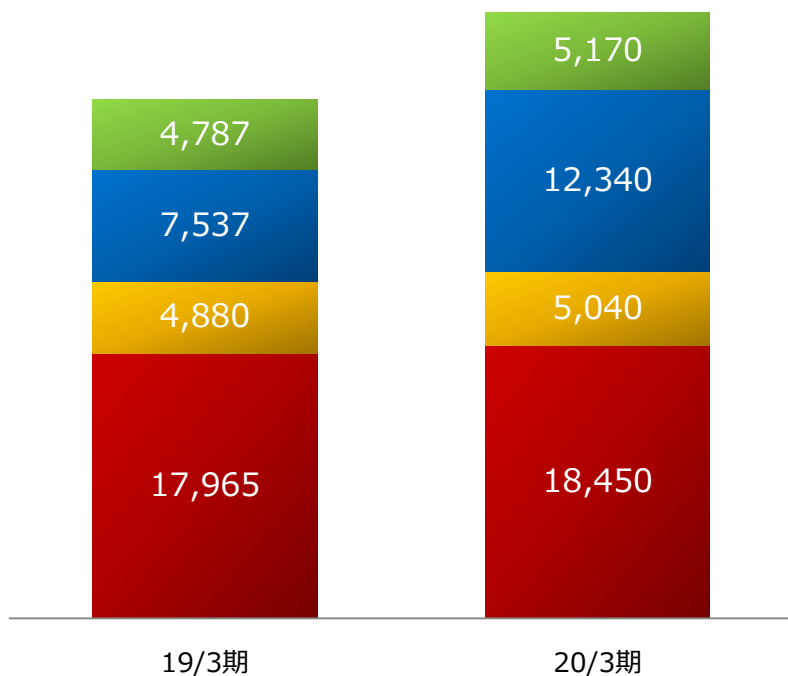
	19/3期実績	20/3期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	35,170	41,000	5,829	16.6%
営業利益	2,076	2,700	623	30.0%
経常利益	2,634	3,200	565	21.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,724	2,200	475	27.6%

2020年3月期 地域別売上高（予想）

- 国内：全拠点での増収を予想
- 海外：全セグメントで増収を予想。特に南北アメリカはQualiChem社が通期で寄与するため、大幅増収

セグメント別売上高（百万円）

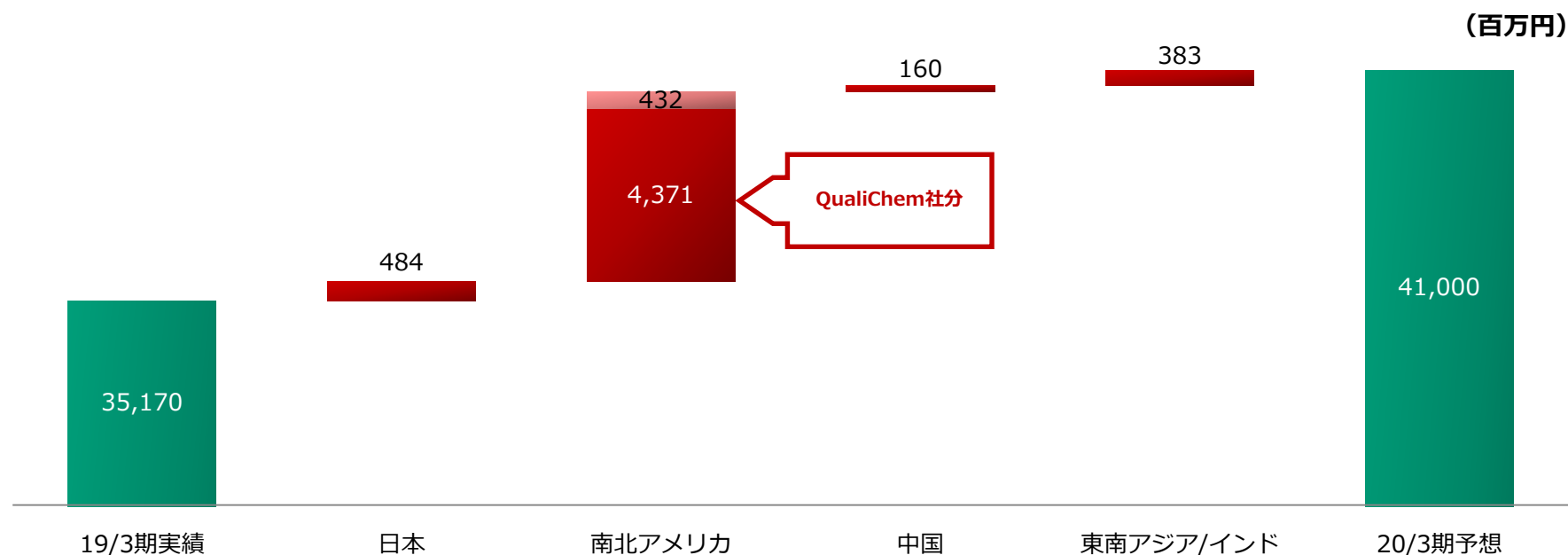
■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド



拠点別売上高（百万円）

拠点	19/3期	20/3期	増減率	
日本	17,965	18,450	2.7%	
アメリカ	アメリカ全体	5,685	10,248	80.3%
	うち QualiChem社	(1,807)	(6,178)	-
メキシコ	1,113	1,196	7.5%	
ブラジル	1,024	1,202	17.4%	
中国	5,766	6,072	5.3%	
タイ	2,140	2,230	4.2%	
マレーシア	970	1,029	6.1%	
インド	772	901	16.7%	
インドネシア	1,146	1,260	9.9%	

2020年3月期 売上高に関する戦略



国内戦略

- 代理店の販売強化
- 非自動車・非切削油剤分野での新規開拓
- QualiChem社との協業推進

海外戦略

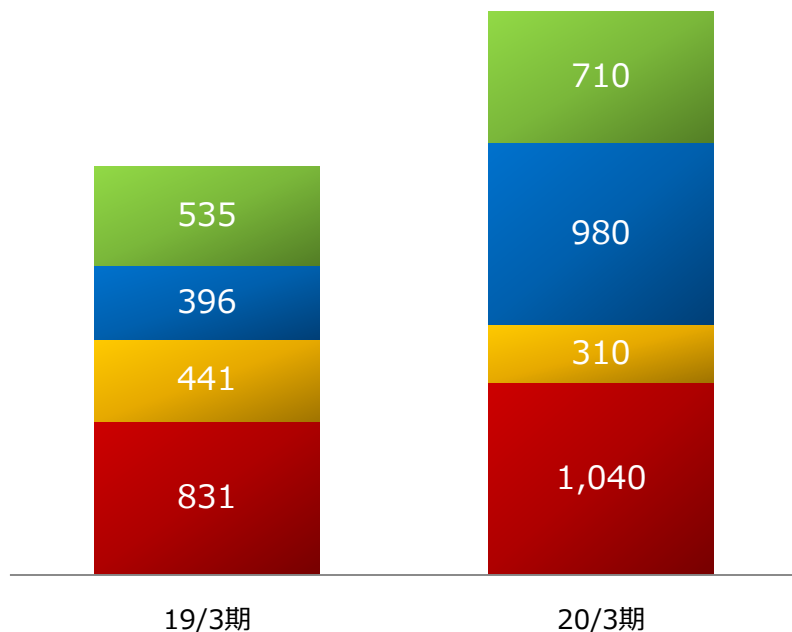
- QualiChem社の販売網を活用したユシロ製品の拡販
- 日系企業でのシェアアップと非日系企業への拡販

2020年3月期 地域別営業利益（予想）

- 国内：全拠点での増益予想
- 海外：中国セグメントのみ原材料価格高騰及び人件費増の影響を増収効果で吸収できず、減益を予想。その他の海外セグメントは増益予想

セグメント別営業利益（百万円）

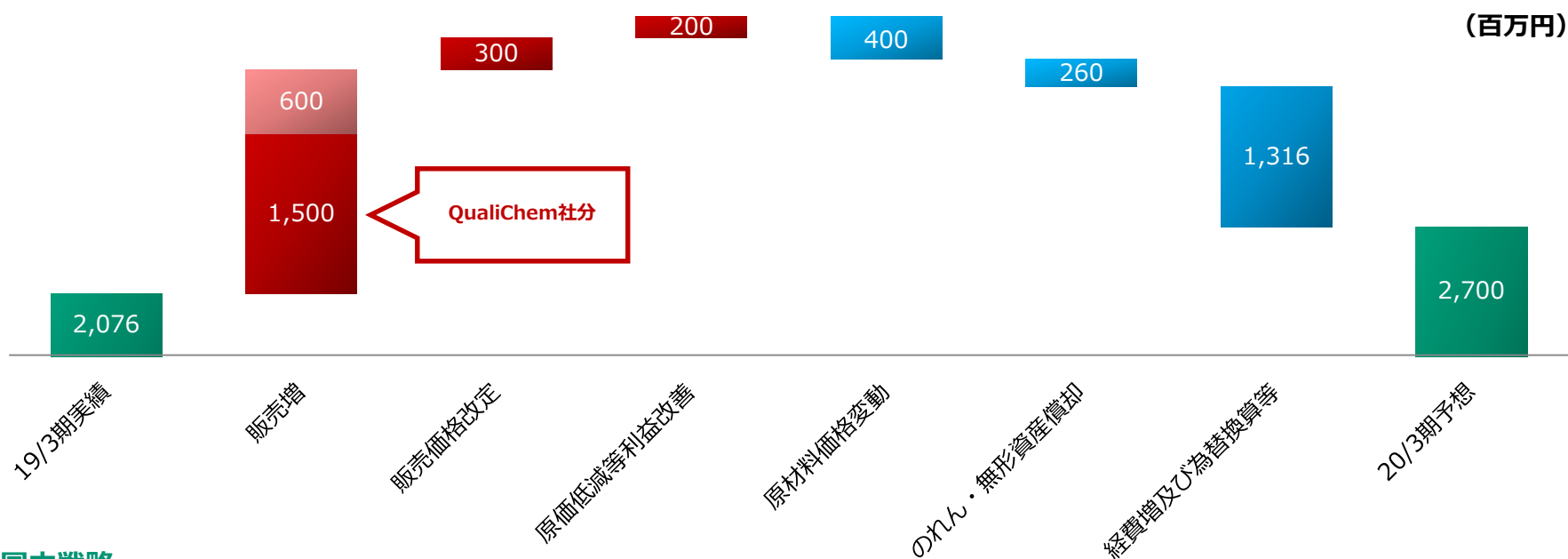
■ 日本 ■ 中国 ■ 南北アメリカ ■ 東南アジア/インド



拠点別営業利益（百万円）

拠点	19/3期	20/3期	増減率	
日本	831	1,040	25.2%	
アメリカ	アメリカ全体	349	884	153.3%
	うち QualiChem社	(119)	(503)	-
メキシコ	176	157	-10.8%	
ブラジル	-54	20	-	
中国	441	310	-29.7%	
タイ	293	324	10.6%	
マレーシア	87	120	37.9%	
インド	23	48	108.7%	
インドネシア	245	303	23.7%	

2020年3月期 営業利益に関する戦略



国内戦略

- 拡販推進による収益性向上
- 原料コストを抑えた製品の開発による原材料価格変動の抑制
- 物流コストの削減による経費の抑制

海外戦略

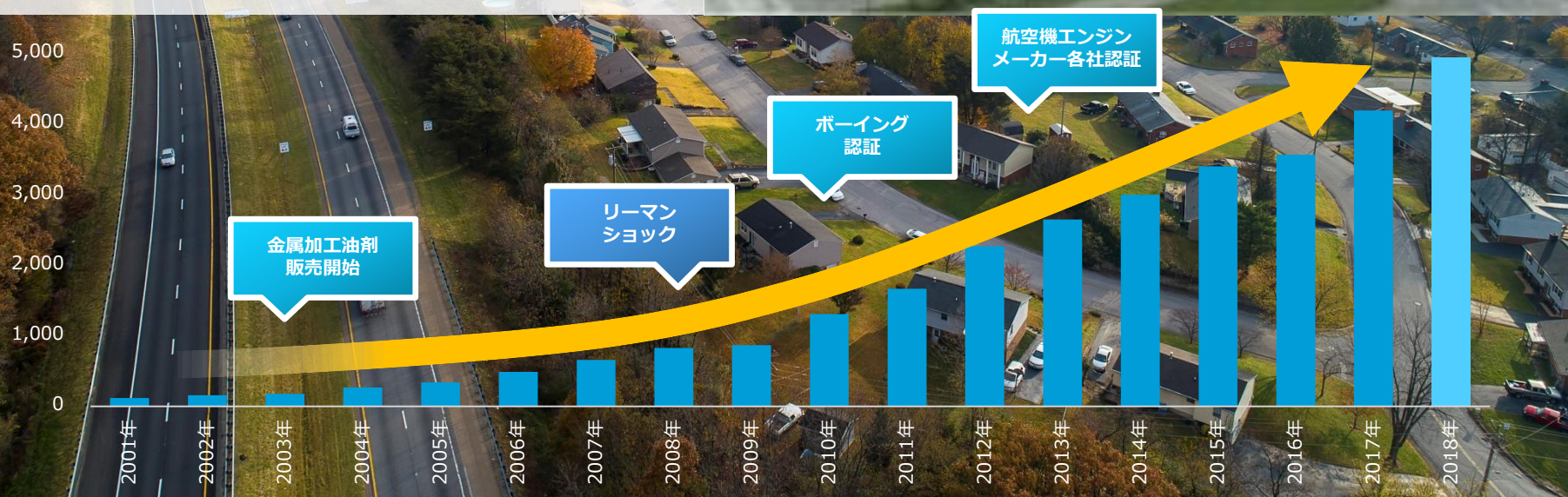
- 拡販推進による収益性向上
- ネットワークを活かした原料調達による原材料価格変動の抑制

QualiChem社の概要

QUALICHEM

社名： QualiChem, Inc.
所在： アメリカ合衆国バージニア州
事業内容： 金属加工油剤・水処理剤製造販売
売上高： 4,932万USD (54億2,500万円)
利益 (EBITDA)： 350万USD (3億8,500万円)
従業員： 87名

QualiChem Offices and Manufacturing



多くの販売代理店を確保



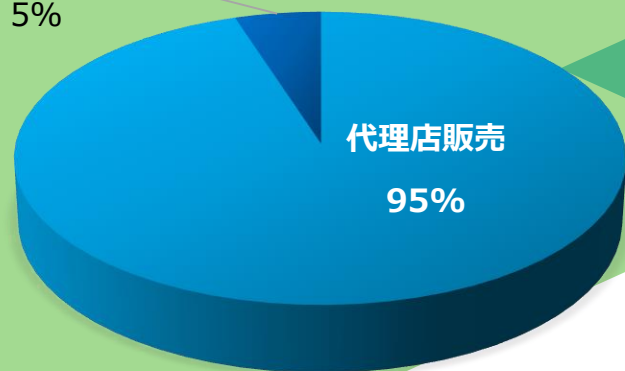
幅広い分野への販売

QUALICHEM

代理店数

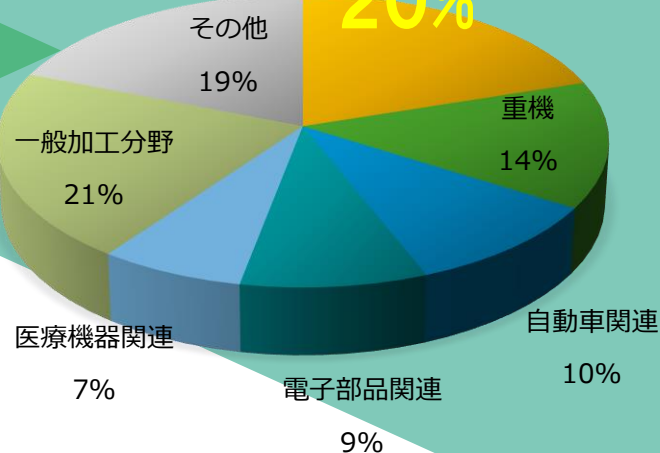
85社

直販
5%



航空機関連

20%



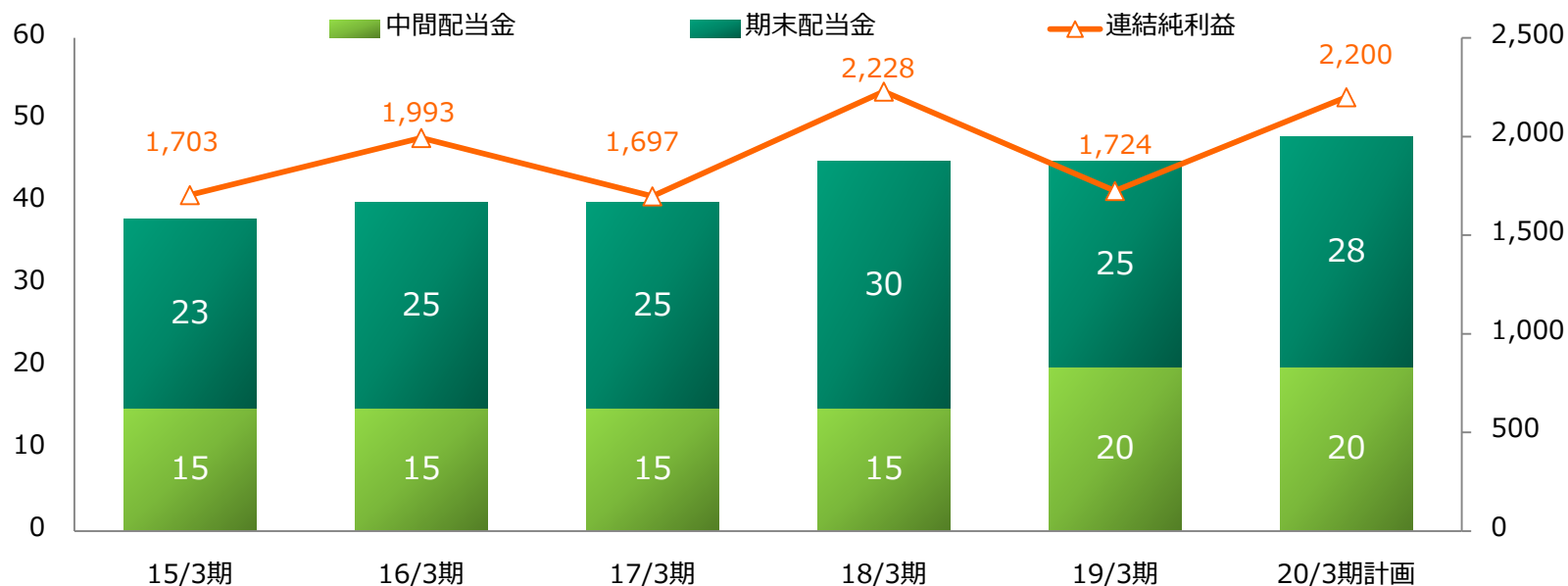
シナジー効果発揮へ

QualiChem社とのシナジー効果について



株主還元

- 配当方針 連結配当性向30%を一つの目安とし、投資とのバランスを考慮しながら安定的な配当と持続的な増配を目指します



配当性向 (連結)	30.9%	27.8%	32.2%	27.4%	35.4%	29.6%
純資産配当率 (連結)	1.8%	2.0%	2.0%	2.1%	2.0%	2.2%
1株当たり配当金	38円	40円	40円	45円	45円	48円



ビジネストピック

Business topic



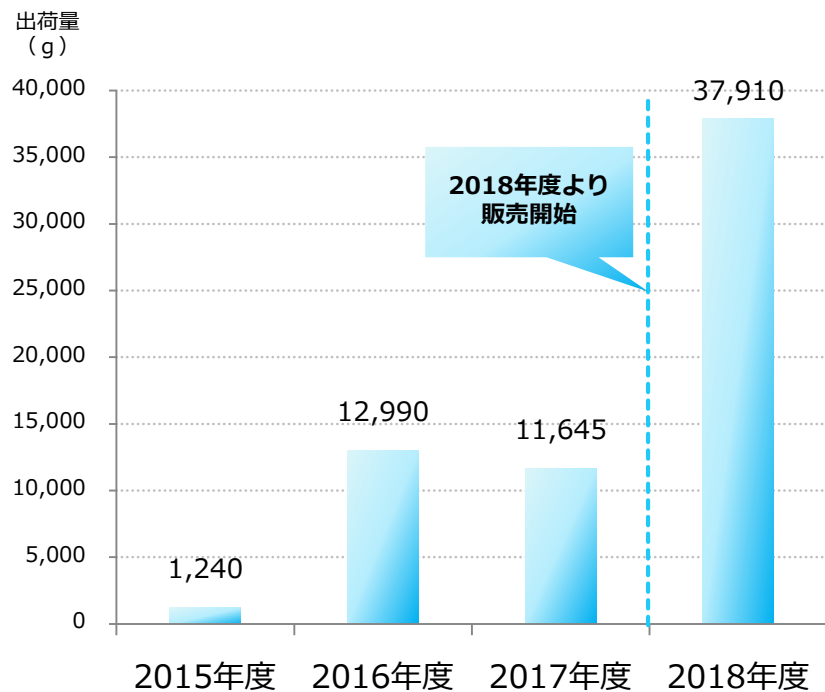
自己修復性ポリマーゲル

PROMOTION MOVIE

ウィザードゲル® ②

製品名	自己修復性ポリマーゲル「ウィザードゲル®」
機能	切れても再生する自己修復性ポリマーゲル
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●自己修復機能 ●特殊分子の相互作用で繰り返し修復可能 ●高靱性・高伸縮性・耐乾燥性 ●様々な形・色に成型可能

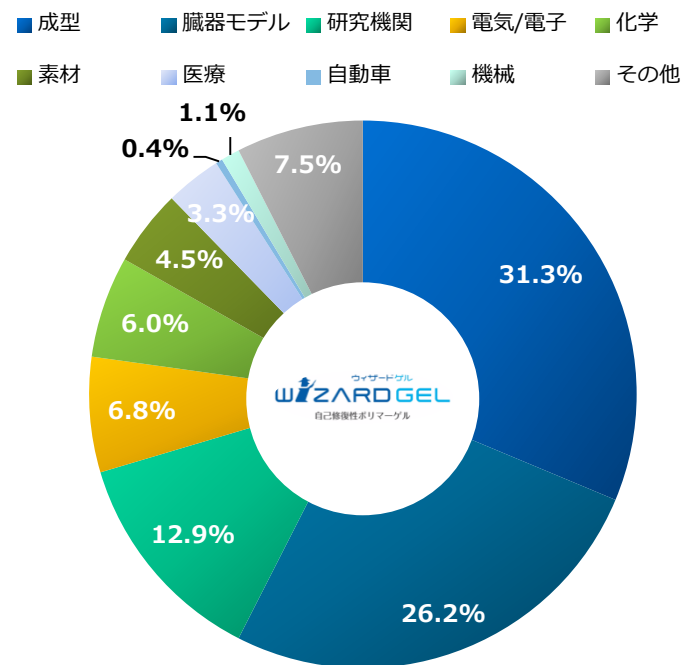
サンプル出荷量の推移（グラム）



大阪大学との産学連携により 革新的素材の開発に成功

[国際ナノテクノロジー総合展「nano tech 2019」産学連携賞受賞]

サンプル出荷先の事業分野（%）





当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシノの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシノの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみにより全面的に依拠されることは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

- ①ユシノグループの事業環境を取り巻く世界情勢
- ②世界の原油価格動向
- ③米ドルを中心とした為替レートの変動
- ④偶発事象 等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシノをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。